

# JIS

## 視力検査装置

JIS T 7309 : 2002

(JMOIA/JSA)

平成 14 年 8 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会標準部会 医療用具技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	菊 地 真	防衛医科大学校
(委員)	相 川 直 樹	慶應義塾大学
	青 山 理恵子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	石 谷 薫	日本歯科器械工業協同組合
	井 上 政 昭	日本医療機器関係団体協議会
	大 村 昭 人	帝京大学医学部附属溝口病院
	小 倉 英 夫	日本歯科大学
	片 倉 健 男	日本医療器材工業会
	亀 水 忠 茂	日本歯科材料工業協同組合
	添 田 直 人	財団法人医療機器センター
	田 中 良 明	日本大学
	土 屋 利 江	国立医薬品食品衛生研究所
	堤 定 美	京都大学
	豊 島 聰	医薬品医療機器審査センター
	西 田 輝 夫	山口大学
	根 本 幾	東京電機大学
	萩 原 敏 彦	社団法人電子情報技術産業協会
	平 野 昌 弘	社団法人日本ファインセラミックス協会
	堀 江 孝 至	日本大学
	村 上 文 男	社団法人日本画像医療システム工業会

主 務 大 臣：厚生労働大臣 制定：昭和 63.8.25 改正：平成 14.8.1

官 報 公 示：平成 14.8.1

原 案 作 成 者：日本医用光学機器工業会

(〒169-0073 東京都新宿区百人町 2 丁目 26-10 東京オプトメトリックカレッジビル

TEL 03-5338-5885)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会標準部会 (部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：医療用具技術専門委員会 (委員長 菊地 真)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、厚生労働省医薬局審査管理課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1 丁目 2-2 TEL 03-5253-1111(代表)]又は経済産業省産業技術環境局 標準課環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本医用光学機器工業会 (JMOIA) / 財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS T 7309 : 1988** は改正され、この規格に置き換えられる。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 8596 : 1994**, Ophthalmic optics—Visual acuity testing—Standard optotype and its presentation 及び **ISO 8597 : 1994**, Optics and optical instruments—Visual acuity testing—Method of correlating optotypes を基礎として用いた。

**JIS T 7309** には、次に示す附属書がある。

**附属書 A (規定)** 文字及び図形視標とランドルト環との相関試験方法

**附属書 B (参考)** 遠距離視力検査方法及び検査報告書

**附属書 1 (参考)** **JIS** と対応する国際規格との対比表

## 目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
4. 種類	2
5. 環境条件	2
6. 視標	2
6.1 視標	2
6.2 ランドルト環視標の寸法	3
6.3 ランドルト環以外の視標	3
7. 性能	3
7.1 標準視力検査装置	3
7.2 准標準視力検査装置	5
7.3 特殊視力検査装置	5
8. 構造、機能及び品質	5
9. 試験	5
9.1 安全に関する試験	5
9.2 性能試験	5
10. 取扱説明書	6
11. 表示	6
附属書 A (規定) 文字及び図形視標とランドルト環との相関試験方法	7
附属書 B (参考) 遠距離視力検査方法及び検査報告書	9
附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	11
解 説	15

## 視力検査装置

## Visual acuity testing equipment

**序文** この規格は、1994年に第1版として発行されたISO 8596:1994, Ophthalmic optics—Visual acuity testing—Standard optotype and its presentation を元に、1988年に第1版として発行されたJIS T 7309に規定されている3種類に分類された視力検査装置の一つ、標準視力検査装置に使用される視標とその性能について、対応国際規格を翻訳し、規格票の様式及び／又は技術的内容を変更して作成した日本工業規格であり、対応国際規格には規定されていない准標準視力検査装置と特殊視力検査装置に関する規定、並びに環境条件、試験及び取扱説明書に関する規定を日本工業規格として追加している。また、1994年に第1版として発行されたISO 8597:1994, Optics and optical instruments—Visual acuity testing—Method of correlating optotypes を翻訳し、ランドルト環と文字及び図形視標との相関試験方法について、規格票の様式及び／又は技術的内容を変更して、附属書A(規定)としている。

なお、ISO 8596及びISO 8597に対する変更、追加の一覧表は、その説明を付けて、附属書1(参考)に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、視力を検査するために用いる装置(以下、視力検査装置という。)及び視力検査用視標(以下、視標という。)について規定する。

**備考1.** 視力検査用チャートプロジェクターは、JIS T 7310に規定する。

2. 文字及び図形視標とランドルト環との相関試験方法について、附属書A(規定)に規定する。
3. 遠距離視力検査方法及び検査報告書について、附属書B(参考)に補足する。
4. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide21に基づき、IDT(一致している)、MOD(修正している)、NEQ(同等でない)とする。

ISO 8596:1994, Ophthalmic optics—Visual acuity testing—Standard optotype and its presentation (MOD)

ISO 8597:1994, Optics and optical instruments—Visual acuity testing—Method of correlating optotypes (MOD)

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年を付記していない引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS B 7153 測定顕微鏡

JIS B 7184 測定投影機